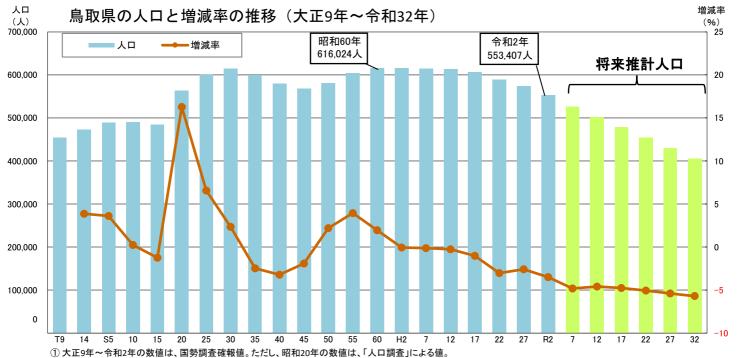
取

県人口と人口動態の推移

人口の推移

鳥取県の人口について、大正9年から平成27年までの5年(国勢調査実施年)ごとの推移をみると、昭和30 年から昭和45年までは減少していましたが、その後は増加を続けて昭和60年には616,024人となりました。そ れ以降は減少を続けており、令和2年には553,407人となりました。

将来推計人口によると、今後も減少していくと見込まれています。

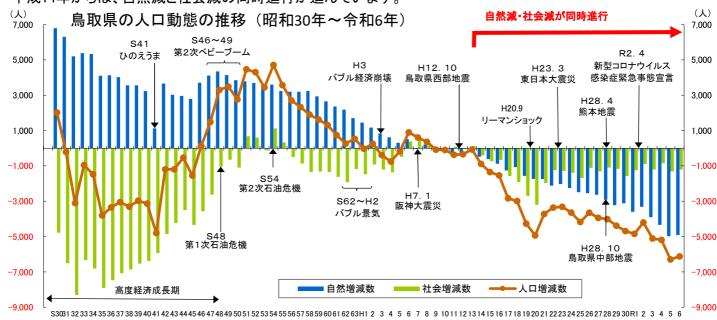


- ② 令和7年~32年の数値は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計) 川による値

人口動態の推移

鳥取県の人口動態の推移をみると、自然増減では、昭和30年から平成6年までは出生数が死亡数を上回っ ていましたが、平成11年以降は全ての年で下回っています。社会増減では、昭和50年代と平成前半には転 入が転出を上回る年もありましたが、ほとんどの年では転出が転入を上回っています。

平成14年からは、自然減と社会減の同時進行が進んでいます。



- ① S33年からS44年までは「人口動態統計」と「住民基本台帳人口移動報告」による S45年からは「鳥取県人口移動調査」による
- ② 自然増減:出生と死亡による増減 ③ 社会増減:県外転入と県外転出による増減